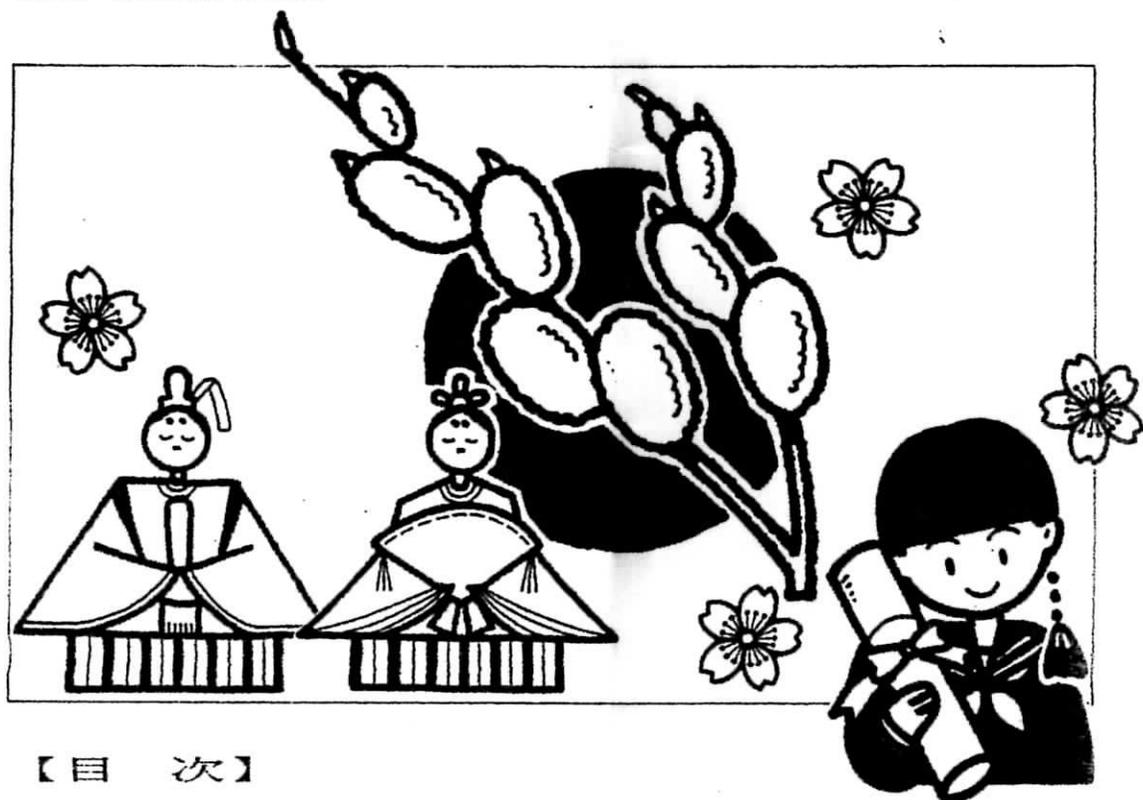


たんちよう

No. 112
2月号

HSK

編集／釧路地方腎友会



【目次】

シャント・釧路地方腎友会の要望 — 《上田 弘》	1・2
平成元年・年賀取扱実績報告	3
新透析施設オープン近し	4
シリーズ・腎移植 — 《岡本 順一》	5
新年会に出席して — 《佐藤 信洋》	6
わが街・うまいもの探訪	6
栄養おもしろゼミナール — 《前田栄養士》	7
皆さんお世話になりました — 《外崎 芳江》	8
クロスワードパズル	9
会員の動向	10

釧路地方腎友会の要望

釧路会々長 上田 弘

もうじき年度変わり、新年度の予算編成の時期でもあり、特に次の三点につき早急に実現されるよう取り組みしていきましよう。

〔透析患者の増大〕

腎臓病患者は近年増え続け、特に内科的治療は無理で、人工透析に依存せざるを得ない透析患者が増加傾向にあります。透析患者が一人増えますと、年間七、八百万円の医療費を要します。一年間に全国で五千人、道内だけでも五百名の新規透析患者が増加しています。これにかかる医療費だけでも全国で三五〇億円、道内で三五億円も増加しているのが実態であります。

医療費抑制の観点、また透析患者として苦しむ人が一人でも減少させる上からも、是非とも腎臓病の予防対策が不可欠であると思います。

従来でも学校検尿など実施していることですが、検尿時の陽性者に対するホロ

ーが適格なものになっていくか疑問であります。

例えば、九州の福岡県においては、腎臓手帳なるものを作成し、陽性者に対する追跡調査・管理により検査後のホローを行い、腎臓病患者の増加に歯止めをかけているものであります。

何年も前から、全腎協（腎臓病患者の全国組織）では、この福岡県で行われている方式を推進するため活動を行っており、道内でも腎臓病患者を増やさないための施策を実施するよう要望いたします。

何となく、道内でも腎臓病患者を増やさないための施策を実施するよう要望いたします。

〔腎移植センターの設置〕

全国的に腎移植をする腎移植センターを設置し、道内でも札幌市立病院が腎移植センターとして指定され、機能を果たしているところであります。

しかし、北海道は非常に広大で、広大なるがゆえに種々の地域間格差・障害が生じているのも実態であります。

腎移植センターにおいても、実際的な移植を考える時、道内全域を札幌市立病院で対応する事は時間的・距離的な関係で無理であり、腎移植サブセンターの必要性は不可欠であります。この件については以前にも話題となってきました。

しかし、その後の経過は分かりませんが、今までに実現されていないのが実態ではないでしょうか。

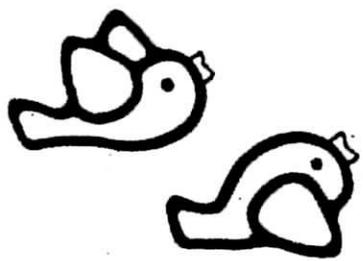
現在、釧路地方には十名近くの腎移植者が居りますが、昨年未まで釧路市立病院で生体腎移植ですが三件実施され、いずれも成功しております。しかし、そのほかの人は札幌・東京まで行って腎移植を受けているのが実態であり、当人達の経済的・肉体的・精神的な負担を余儀ないものになっていきます。

生体腎移植の場合には時間的にも計画的に実施出来ませんが、今後推進していかねければならない死体腎移植においては、時間的制約がともないます。その為には充実したネットワーク体制が必要であると思えます。

一部情報では、サブセンターとして受けるのを拒否している地域があるように聞いていますが、もし、地域的にサブセンターとして受けてもらえる施設がない場合には、サブセンターを受けてもらえる地域だけでも早急に体制の整備をしてほしいものです。拒否している地域については、その後、話し合いがまとまった時点で体制に参加していただいても良いのではないのでしょうか。

道内でも先日、死体腎移植が実施され見事成功されております。腎移植も技術面では相当進んでおります。それに追いつかないのが体制的な関係だと思えます。

死体腎移植が軌道に乗っていると云えない現状ですが、軌道に乗ってからは遅いと思えます。道内全域を網羅した腎移植体制を早期に確立されるよう要望いたします。



近年、医療技術の向上はもとより、各種福祉制度も充実していますが、多くある福祉制度を実際に適用（活用）するとなると、あまりにも種々雑多で、素人の患者ではどのように対応して良いものか苦慮しているのが現実の姿であります。ある釧路の総合病院では、医療ソーシャルワーカーは配属されていますが、専門職以外の仕事に追われているのが実態であり、私達が用事が有り訪問しても、不在・多忙という事で用件を済ませれない時もあります。

そこで、医療面での各種福祉制度の相談指導の専門職である医療ソーシャルワーカーを、各病院に配置し、また総合病院においては必要数を配置されるよう要望いたします。

以上

鉦路泌尿器科
クリニックス

来年5月に開院

血液透析装置 20台を完備 夜間も治療、利便性アップ

H1. 11. 28 鉦路

鉦路泌尿器科クリニックスが、来年五月、鉦路市鶴ヶ谷二丁目の市立鉦路総合病院前にオゾン室を備えた血液透析装置を二十台に増やすことになり、腎不全に苦しむ患者には朗報といえる。

同クリニックスを開院するのは、久島員一市立鉦路総合病院泌尿器科部長（左）と、久島俊一市立鉦路総合病院泌尿器科部長（右）の二人。久島俊一市立鉦路総合病院泌尿器科部長は、北見出身、北大医学部卒。五十九年四月に北大病院から市立病院に移り、泌尿器科医長。今春からは部長として診療に当たっている。

今回、長年の夢を実現するため、開業に踏み切ったが、建設費は敷地面積一千六百九十平方メートル、地上三階建て、床面積一千六百九十六平方メートル、ベッド数十九床のほか、血液透析二十床も完備する。総事業費は六億五千万円。鉦路地方の血液透析を必要とする患者は約二百人、同装置を備えた病院は鉦路で市立病院のみ。装置の数は約九十台と、患者数に比べ不足気味となっている。

このため、同クリニックスの新設で二十台増えることになり、腎不全患者にとって朗報となる。さらにはこの二十台は、最新の機種を導入するため、問題となっている体内へのアルミニウムの残留もゼロとなる。

また、一回に四時間半もかかる透析の診療も、昼間のほか、夜間も行っていることから、夜間も治療の利便性も高まりそうだ。その他、高齢化社会が進むなか、老人性の前立腺肥大症や神経因性膀胱などの増加も予想されることから、それらの治療にも力を入れる構えだ。また、道内では珍しい植石を超音波で破壊する装置も近い将来導入する計画だ。

久島医師の話、鉦路をわがふるさととして開業することになった。患者さんがゆったりと治療を受けられるクリニックとして行きたい。

平成元年・年賀取扱実績表

病院別	件数	枚数	業書代	印刷代	合計	利益
鉦路市立	394	39,786	1,178,776	1,073,990	2,252,766	214,798
林田クリ	530	50,225	1,637,480	1,401,790	3,039,270	280,358
協立病院	532	64,142	1,656,548	1,503,240	3,159,788	300,648
日赤病院	14	1,120	45,920	40,520	86,440	8,104
厚岸町立	131	12,430	368,590	327,670	696,260	65,534
根室市立	324	23,905	873,710	763,900	1,637,610	71,200
計	1,925	191,608	5,761,024	5,111,110	10,872,134	940,642

なお根室での取扱については、印刷代を一割増で取り組み、その上乗せ分を鉦路の利益とした。その結果、一色・195件×200円、二色・115件×280円となりました。

根室地区の利益は、ここには計上されていませんが、印刷代の二割が還元されて

います。

会員の皆さんには取り組み大変ご苦勞さまでした。

この売上利益より、メモ帳付き印鑑入れを購入し、会員全員と年賀取扱に御協力下さった方々へ、配布致しました。

新透析施設 開設

オープン近し

現在、釧路市内に市立・日赤・労災・林田と協立の五つの透析施設があります。が、これに加えて今年五月に新しい透析施設がオープンされます。

新しくオープンされる施設は仮称「久島泌尿器科クリニック」で、開院場所は市立病院の真向いに位置し、先生は市立病院の現泌尿器科部長の久島先生です。久島先生に新しい病院の概要をお聞きしましたのでお知らせします。

◆開院予定日・平成二年五月二日

◆施設概要・地上三階建

- 一階・透析病棟
- 二階・外来病棟
- 三階・入院病棟

- 入院病棟は、一人部屋・三室
- 二人部屋・四室
- 四人部屋・二室

◆透析台数・バイカーボ・二十台

◆スタッフ・看護婦・六名
臨床工学士・一名

◆透析時間帯・月水金・夜間のみ

火木土・昼間のみ

◆食

事・院内に厨房を設け、温かい食事を提供する

◆なお、久島クリニックでは、

▲市立病院をセンター病院とし、この病院を市立病院のサテライトとしての性格で考え、市立病院と常に連携を保つこと。

▲転院希望者は、現在の病院の先生に相談し、円滑な形で転院をお願いしたい。
▲スタッフは、患者数に応じて増員しますが、開院当初の透析患者数が見当つかないので、スタッフ人数の確定に苦慮している。

▲透析機械は、最初から二十台用意しておくので、毎日・ニクール実施した場合には一日・四十名、最大八十名迄は収容可能です。

▲透析時間帯も、透析患者の希望に合わせ昼夜に振り分けるが、人数がオーバー

した場合にはオーバーした部分について（昼か・夜か）毎日実施する予定。
▲市立病院では、現在まで三名の方が腎臓移植を実施していますが、市立病院の後任者についても腎臓移植の経験者が配属される予定であり、腎臓移植に対するホローについてはまったく問題がありません。

▲院内には患者さんが便利なように、休憩室を大きく設けた。また、病院患者会用の部屋も用意してある。

▲テレビの設置に併せ、有線放送も聞けるようにしてある。

▲電話はコードレスで患者さんが利用出来るようにしてある。

▲もちろん駐車場施設あり。

以上のとおり概要を報告致しますが、くれぐれも転院希望者は、現在の病院の先生と相談のうえ対処されるようお願い致します。

この病院のオープンにより、釧路での透析可能人数も大幅に増加されます。また、夜間透析も実施されることで、社会復帰を目指す方々には、良い条件が揃ったのではないのでしょうか。

シリーズ 腎移植

腎移植をして



《林田クリニック》 岡本順一・四〇歳

私は姉より腎臓の提供を受け、平成元年十一月十五日に市立釧路総合病院で腎臓移植の手術を受けました。

林田クリニックの宮本婦長さんに、市立札幌病院の平野先生を紹介していただき、姉と二人で市立札幌病院へ血液適合検査を受けに行きました。

この時、平野先生に釧路の市立病院で手術をしたらどうかと勧められ、多少の不安も有りましたが、帰釧してから姉とも話し合い、釧路で手術をすることにしました。

後日、市立釧路総合病院の久島先生より移植手術の方法、心構えなどの説明を受けましたが、『移植後はどの様な症状が起きるかわからないが、心配するな』

との事で、あとは先生を信頼し任せるだけでした。

平成元年十一月二日に入院し、十五日までは検査・検査の毎日でした。いよいよ移植手術の当日、手術に関しての不安は有りませんでした。が、術後の事が少し気になりました。

手術も終わり、術後の拒絶反応もなく順調に過ぎましたが、ただ一つ精神的に不安定になった事です。

この事は先生より、クスリの副作用と個室に隔離されるので、不安定になるとの説明がありました。

私自身、孤独に耐えられるつもりでしたが、三週間あたりで自分の症状に気が付きました。

それは、極端に気が短くなっていたこととです。自分でも分かっていたはいるのですが、それが些細な事でも（同じ事を聞かれたり、言われたり、または何かをするように指示されたりする）イライラして来るのです。

それでも、先生よりトイレだけは個室から出てほしいとの許可が出て、少しづつ落ち着いてきました。思えば検査の時になせ、精神科の検査を受けたか良く分かりました。

お陰様で薬の副作用以外、これといった症状もなく退院が出来、今は極端に落ちた体力と、筋力をつけて職場へ復帰出来るように勤めています。

釧路市でも早く専門の腎移植センターが出来て、腎臓提供者（腎バンク登録者）からの移植が速やかに行える様になってもらいたいものです。

最後になりますが、今回腎臓移植を受けるにあたり、大勢の人の理解と、ご支援・ご協力をいただき、心より感謝しお礼申し上げます。

新年会に出席して

佐藤信洋（四十才・市立病院）

去る一月二十一日に行われました鉤脛会の新年会に出席させていただきました。約四十名が出席し、伊藤道議さん・高橋市議さん・上田会長の挨拶があり、その後乾杯により宴会に入りました。

宴会では、ビンゴゲーム・紙綱引き・迷解答ゲームなど行われ、出席者全員が童心にかえったように熱中し、盛り上がりました。

料理は中央のテーブルにトラバガニを始め、豪華な肴としておいしいものが出て

全員満腹になり満足したようでした。

ゲームの景品も全員にあたり、持ちきれない位にわたり、特に子供さんは喜んでいました。差入れにホッケ（魚）が沢山ありましたので景品になり、当たった人は家で早速食べたのではないのでしょうか。

私達透析患者は体調に波があり、生活の面でかなりの制約を受けています。元気なうち、体調の良いときには、同病者同志で気兼ねがいらない腎友会のいろいろ

レストラン 山彦

鉤路市新栄町一の十七
電話二五五二一七四



今回、シリーズ最後に紹介するお店は、スパゲッティの美味しいレストラン山彦です。

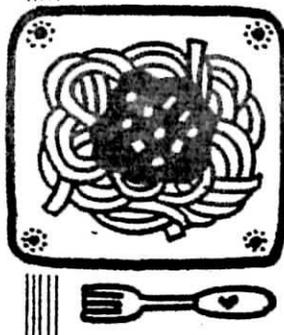
開店は昭和四十年七月で、カウンタートン三人・小上がり十二人の店で、店内はあまり大きくなく、こじんまりしており、なかなか年が入っています。

平日はサラリーマン・OLの方などが多く、日曜日は家族連れが多いそうです。薄味に出来る物は注文時に申し出るとして頂けます。



行事に参加し、人生を楽しむようでしたら、ストレスの解消にもなり、体によいと思います。

今回参加されなかった方、今後は行事がありましたら是非参加して一緒に楽しみましょう。



ミートソース六〇〇円・山彦風六〇〇円などの、スパゲッティ類は鉄板を焼いてあるのでジュージューと音をたてて食欲をそそりますヨヨーン

あわてて食べると舌を火傷しますヨ。

定休日は十日・二十日・三十日で、日曜日にぶつかると次日が休みになります。営業時間は午前十一時～三時/午後八時～三時迄です。

PSY 仲間内では、レストラン山彦を『ヤホー』とよんでおります。

栄養おもしろゼミナール

Q

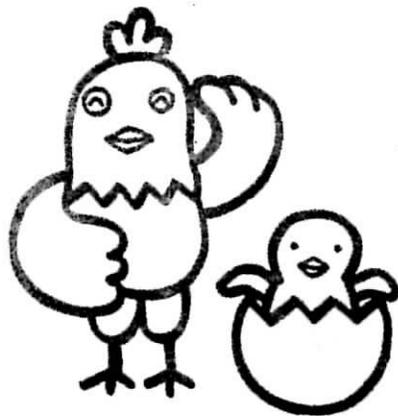
有精卵は無精卵よりも栄養価が高いのでしょうか・・・？

A

一般に、私たちが食べているのは無精卵で、精子が入っていないので、誰にかえりま

せん。

栄養的には違いは有りませんが、むしろ有精卵の方が早く鮮度が落ちるので、商品として適しているのは無精卵です。



Q

卵は生で食べるより、半熟にした方が消化が良いのですか・・・？

A

生卵の場合、白身にアビジンが含まれていて体内のアビジンと結合し、腸からのアビジンの吸収を妨げますが、熱を加えるとアビジンが分解し、アビジン吸収の妨害をしなくなりやすから、体の弱っている人や病人は生卵より半熟のほうが好ましいと思います。

Q

ゆで卵の冷蔵庫保存は良いのでしょうか・・・？

A

卵の殻には細菌の通過が自由に行ける小さな穴がたくさんあいていて、時間がたつほど殻を自由に通って細菌が増殖しますので、冷蔵庫でも安心できません。せめて二三日のうちに食べる方が安全です。

林田クリニック 前田栄養士

証言・質問がありましたら各病院の「たんちよう」編集部または幹事さんまでお寄せ下さい。お待ちしております。

全腎協制作 テレホンカード

ご希望の方は各病院の幹事さんへ申し込み下さい。一枚/八〇〇円



平成元年度も

終わりになおります

会費未納の方

各病院の幹事さんへ

納めください

一年/2,000円(税別)

腎友会お母さんの
会費で「健康」を張ってください。

お願い

釧路腎友会の皆さん

お世話になりました。

● 上田会長をはじめ、たんちょう編集委員の皆さん、市立病院の皆さん、4年間ありがとうございました。

出産の為、また主人の仕事の都合で札幌へ引っ越しすることになりました。病院は北大になります。透析1年、移植3年ですが、透析期間が長く移植した今が、あっというまに過ぎた気がします。妊娠がわかり、血圧高めのむくみありということで、塩水分制限、6カ月になると貧血で鉄剤を飲みながら一週間注射に通い、なんとか8カ月まで来ました。いろんな事を考えながらここまで来たら必ず産もうと決めました。(くよくよ考えたり、落ち込んだりしてました。Iさん、K君ありがとう)

腎友会に入って皆さんを見ていて、大変励みにもなりました。私も不安はありますが、頑張って出産に挑戦したいと思います。予定は、4月中旬ですが生まれた時はたんちょうにでも報告したいと思います。(よい報告ができればいいな〜)

最後になりましたが、皆さんお元気でいてください

心よりお祈りしています。

本当にありがとうございました

外崎芳江



外崎さんは、釧路腎友会の機関誌「たんちょう」の編集委員でもあり、釧路腎友会にも大変協力してくれました。ありがとうございました。
元気な赤ちゃんを出産され、いつまでもお元気で過ごして下さい。

65

スポーツ
クロスワ
ード

解き方

各マスにカタカナを一文字ずつ入れてください。最後にローマ字のあるマスの七文字をABC順につなぐと、答えの言葉がでます。

恋が生まれる
かも……。



十二月号のクロスワード・クイズの答え

【テックイキボウ】

今回は応募者九名でしたので、応募者全員に記念品を差し上げます。

- 永田 耕一郎(市) 小島 タキ子(市)
- 徳田 稔昌(市) 山田 幸男(市)
- 佐藤 信洋(市) 斉藤 昭彦(林)
- 外崎 芳江(市) 渋谷 敏彦(林)
- 岡本 順一(市)

1	2	3	4	5	6
		ビ			ヨ
	7			カ	
8			9		10
	A				B
	11		12		13
14		キ			15
		16			
17	18			19	ケ
	F				20
	21		ラ	22	
					G

◎下記応募用紙に答えを記入し、下記編集部まで。

正解者の中から抽選で、10名様に記念品を贈ります。

◎正解・当選発表は4月号で

◎締切は、3月17日(土)必着

◎宛先は、鉚路市新富町1-7

林田クリニック内

鉚路地方腎友会編集部まで。

氏名	病院名	A	答
		B	
		C	
		D	
		E	
		F	
		G	

ヨコのカギ

- ①これは女性をあらわす語。
- ②馬子にも——といひます。
- ③ここには長い髪の女が似合うと、細川たかしが歌っています。
- ④よき競争相手がいると、——になっていい。
- ⑤これは会社——だ、徒わなくてはなるまい。
- ⑥相撲界のルーキーです。
- ⑦交通事故ではちゃんと——を運ぶ必要がある。
- ⑧ここまで走ってきたので——が切れてかなわん。
- ⑨数くのや掛けるのがある。
- ⑩百人一首にも出てくる藤原家の悪徳です。
- ⑪火の中に飛び込んで行って子どもを助けた——な消防夫。
- ⑫風の強い人がすぐに始める。
- ⑬風船が——高く飛んでいく。
- ⑭結婚した二人は、どちらかの——を名乗る。

- ⑮ヨコは「ヨコ」の音で、
- ⑯「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ⑰「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ⑱「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ⑲「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ⑳「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㉑「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㉒「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㉓「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㉔「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㉕「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㉖「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㉗「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㉘「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㉙「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㉚「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㉛「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㉜「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㉝「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㉞「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㉟「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㊱「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㊲「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㊳「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㊴「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㊵「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㊶「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㊷「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㊸「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㊹「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㊺「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㊻「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㊼「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㊽「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㊾「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㊿「ヨコ」は「ヨコ」の音で、

クイズの答え

- ①田舎のいなり豆は、
- ②「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ③「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ④「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ⑤「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ⑥「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ⑦「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ⑧「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ⑨「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ⑩「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ⑪「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ⑫「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ⑬「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ⑭「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ⑮「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ⑯「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ⑰「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ⑱「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ⑲「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ⑳「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㉑「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㉒「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㉓「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㉔「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㉕「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㉖「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㉗「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㉘「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㉙「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㉚「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㉛「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㉜「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㉝「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㉞「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㉟「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㊱「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㊲「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㊳「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㊴「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㊵「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㊶「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㊷「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㊸「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㊹「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㊺「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㊻「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㊼「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㊽「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㊾「ヨコ」は「ヨコ」の音で、
- ㊿「ヨコ」は「ヨコ」の音で、

◆ 亡 死

中葉子	(市立)	11月
木キク	(市立)	12月
水豊和	(市立)	12月
下憲雄	(市立)	1月

原稿募集。

みんなの機内紙「たんちょう」!!
お気軽に原稿をお寄せ下さい。
お待ちしております。
何んでもOK!!
編集室



(平成2年)1月25日(木曜日) 16版 第2社会 (22)

無脳児から腎臓移植

国内 2例目 近大が35歳女性に

大阪半球がない状態の生
まれ無脳児の腎臓(生
重約15g)を死んだ無脳
児の腎臓(重約15g)を
移植が近大医学部泌尿器
(大阪府大塚茶山町)で
われ、二十五日から行
大塚市内の本で、行
る「第二十三回腎臓移
植学会」で症例報告され
無脳児からの腎臓移植は
例目、患者は橋本
い。同病室で発表するの
は、同大泌尿器科の山下
久医師。同医師によら
この無脳児は約一年半前
P.L.病院(大阪府田林市)
で生まれた。大塚半球が
欠損した「全前脳症」と
診断された。その後、約一
年半自力呼吸で生き続けた
が、昨年一月に呼吸器障害
で死した。このため、同病
室の医師が、この腎臓を
二回とも摘出、腎臓を
(生後)腎臓炎にかか
った三十五歳の女性に移
植した。この女性に手術後
に、移植した腎臓が正常に
機能している。現
無脳児は出生例、約一
例発生。米国では「一昨年
ま」に二十例の無脳児の
腎臓を使った移植が報告さ
れている。(池田医師)と
い。しかし、無脳児から
移植用臓器を摘出すること
の是非など、めぐり論争が
起る。最近では、移植が
行われていない。
二月に社会保険中央病院
(谷田町)で、八歳の女
児に出生直後の無脳児の腎
臓を移植したのが、一
例。

術後1年
経過順調

H S K たんちよう

昭和四十八年一月十三日 第三種郵便物認可 H S K 通巻二一四号
平成二年二月十日発行 毎月一回十日発行 一部百円
発行・北海道身体障害者団体定期刊行物協会 編集・網路地方賢友会